

図書館だより

令和2年

春号



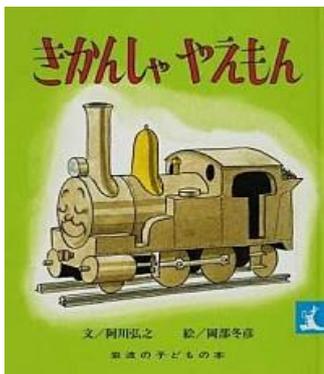
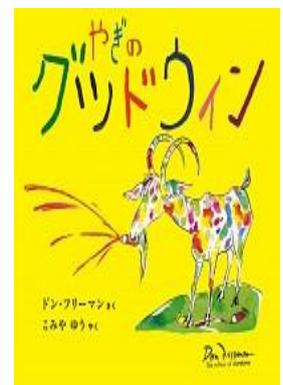
久世ふれあいセンター図書館
TEL931-0035

新入学おめでとうございます。新学期も始まりましたね。冬の間ちぢに縮こまっていたからだをぐ〜んとのばして、新しい毎日を元気にはじめましょう！
図書館では、いろいろな本をそろえてみなさんを待っています。
おすすめの本を7冊ご紹介しますね。



「やぎのグッドウイン」ふくいんかんしよてん ドン・フリーマン作 こみやゆう訳 福音館書店 **ていがくねん**

え 絵のぐのチューブをブチューとか噛んで、うれしそうなやぎ。からだに、いっぱい色がついて、すてき！ほんとうにあった、たのしいおはなしです。



「きかんしゃやえもん」あがわひろゆき作

おかべふゆひこえ いわなみしよてん
岡部冬彦絵 岩波書店

古いきかんしゃのやえもんは、新しいでんき電気きかんしゃたちにバカにされてポンポンおこ怒ってはしりました。

すると、いなむらに赤い火の粉がとんで、田んぼがかじ火事に…

やえもんは、こわされて、くず鉄になってしまうのかな？いいえ、はくぶつかん博物館にかざってもらうことになりました。60年も前からある、にんきえほん人気絵本です。

「おなじ月をみて」ジミー・リャオ作 天野健太郎訳 ブロンズ新社 **中学年**



来る日も来る日も、男の子は家の窓から月を見あげていました。

誰かを待っているのです。

そうしてやっと、待っていた大切な人にあ逢えました。

読んだあと、今夜ゆっくりお月様見ようかな…そんな気持ちになりますよ。



「ぼくは恐竜探検家！」小林快次作 講談社

ハヤブサの目をもつ男と言われる小林快次博士のたのしい本です。なぞの恐竜、ディノケイルスや北海道で見つかった「むかわ竜」は、どうやって発見されたのか？

恐竜学者になるには何が必要か？

恐竜ファンにおすすめです。

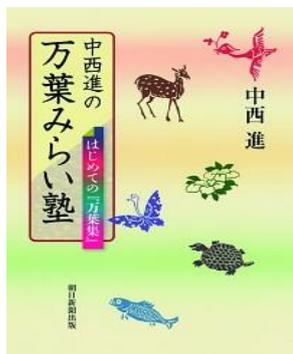


高学年



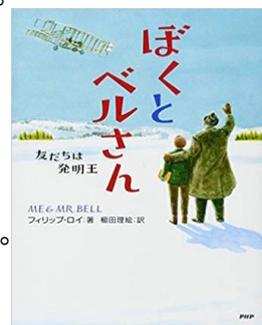
「中西進の万葉みらい塾」中西進作 朝日新聞社

中西進さんが万葉みらい塾という授業を開催したのは2003年からです。日本各地の小・中学校での出前授業の一部分が本になりました。読んでみると、そのイキイキとしたやりとりにびっくりします。ぜひ本を手にとって、授業を体験してみてください。



「ぼくとベルさん」F・ロイ作 櫛田理絵訳 PHP

本の題名のよこに小さく～友だちは発明王～と書かれています。電話を発明した、あの有名なベルさんとエディという男の子が友だちになったんです。でも、どうやって？ あたたかな陽ざしを浴びたような幸せな気持ちになる本です。



「親子でからだあそび」佐藤弘道作 世界文化社

全学年



もう1冊、ていがかねんから高学年までのみなさん^{ぜんいん}におすすめしたい本をごしょうかいします。もと、たいそうのおにいさん、さとうひろみちさんがおうちでもできるからだあそびをわかりやすく教えてくださいます。げんきいっぱい！ ファイト！そして、おやこで、からだあそびをしながら、たくさんいろいろなおはなしができますように。



きょうとしく ぜ としよかん 京都市久世ふれあいセンター図書館

■開館時間

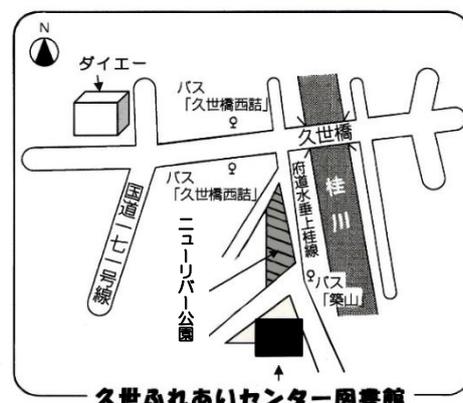
月曜・木曜：午前9時30分～午後7時
水曜・金曜・土曜・日曜・祝日・12月28日：午前9時30分～午後5時
※児童だけの利用は午前9時30分～午後5時まで

■休館日

毎週火曜日（火曜日が祝日の場合はその翌平日）
年末年始

住所：〒601-8203 京都市南区久世築山町328 久世ふれあいセンター1階

電話：075-931-0035 FAX：075-931-0026



ホームページもみてね！



くぜふれあいこちゃん